

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	2014年10月19日 (日)		
山名	油山清掃ハイク		
CL	吉田	参加者	林、田中、中澤、松井、坂本、三ノ宮、前川、熊谷、河辺、野見山、河野、大須賀、林(妻) (14)名
HP記載の有無： 有			
(コース)	8:00梅林駅 ~ 梅林登山口 ~ 11:30山頂		
(コメント)	<p>ゴミは無く、登山者多数あり</p> <p>快晴の中、自宅より我が伴侶と歩いて地下鉄梅林駅へ。そこで参加者と合流。全会員数の割には少ない人数だったので、参加した最近入会まもない人は、「この会は無関心な人が大勢いるとは残念」との思いだったであろう。私自身も、以前は半数近くの人が参加していた事を思うと少々寂しい感あり。新人会員に負い目が無い様に、ベテラン会員さん達よ！次回は奮って参加しましょう。</p> <p style="text-align: right;">(記 林)</p> <p>清掃ハイクに参加の皆さま、お疲れさまでした。</p> <p>アゼリア山の会に入会させていただいて初のイベント参加です。</p> <p>油山も初、地図を片手にハイクするのも初、体験するすべてが初の出来事のようなイベントでした。</p> <p>ゴミ袋とハサミを手にややスロー気味に登りましたが意外にゴミが少なくかなり拍子抜け。ですが、木の根っこを掘ると化石化した空き缶やガラス片が結構出てきました。先人は見つからないようにゴミを捨てていったのでしょうか… 複雑な心境です。</p> <p>約3時間半で頂上に到着。ランチをとり疲れを癒し、ゴミを分別のうえ集約。</p> <p>セミナー参加組と帰路に就く組とここで分かれ、ひととおりのイベント終了です。</p> <p>市民の憩いの森油山でこのようなイベントを実施することは、とっても良いことだと思います。毎年実施してほしいものです。</p> <p>今回のイベントをリードしていただいたCLの吉田さん、田中さん、ご苦労さまでした。袋やハサミを持参していただいて重かったことと推察します。</p> <p>この油山… 身近なご近所低山ではありますが、市内の各方面からのコースがあり、それぞれ結構起伏に富んでいて一日中歩いても退屈しないかも。</p> <p>高祖一飯盛尾根歩きと併せ、ご近所低山歩きも結構なトレーニングになるなあと思いました。</p> <p>常任委員の皆さま、この手の企画もかなり面白いと思われまますのでご検討お願いします。</p> <p style="text-align: right;">(記 松井)</p> <p>快晴の空のもと、初めて登る油山で清掃ハイクに参加させて頂きました。</p> <p>梅林からの登山道は思ったよりもゴミは少なく、市民に愛されている山なのだな、、、と思いながら歩きました。ただ、大きなゴミは少なかったものの、飴の個別包装などの小さなゴミは散見されたことが印象的でした。</p> <p>捨てた方は小さいゴミだからとあまり気に留めていなかったかもしれません。</p> <p>でも、特にビニールやプラスチックなどのゴミは、どんなに小さくても自然界ではいつまでも異物であり決して吸収・分解されることはなく、山を汚し続けるものであるということが改めて心に焼き付きました。</p>		

一汗かいた後、頂上から素晴らしい景色を見渡して皆で輪になって食べたお昼ご飯は最高の味でした。

また是非次の清掃ハイクにも参加して、皆さんとワイワイ山を楽しみながらこうした活動を続けたいと思いました。

(記 大須賀)

紅葉真盛りの九重連山に行きたい！という気持ちをぐっと我慢しての、恒例油山清掃登山。参加のみなさま お疲れ様でした。

みんなで目を皿のようにしてゴミを探し、見つけた時は「あった～！」と嬉しい声。

清掃活動をするのであれば、もっとゴミのある山を選択するのもいいのでは？との声もあり。

でもゴミ袋を持って山を歩くことは、他の登山者の方のマナー向上にもなりますよね。

年に2回の清掃活動、いろいろ課題もあるように思います。

(記 吉田)